

平成22年度 長野県須坂高等学校 学校自己評価表

学校目標	1 基本的な生活習慣を確立し、豊かな知識・表現力、創造的な思考力を身につけた生徒の育成を目指す。
	2 保護者、地域の方々の願いに謙虚に耳を傾け、健康でたくましい有為な若者の育成を目指す。
	3 学年、学級、教科担任、クラブ・委員会顧問、各係等が相互に連絡・連携をとり、公正な生徒への指導を目指す。
中長期的目標	I 自律的な生活習慣の確立を図る。
	II 学習支援の環境を整備する。
	III 自己の適性の伸長と学力の向上を図り、希望進路の実現に向けた指導をする。
	IV 全教職員の連携がより円滑に機能するような学校運営を行う。
今年度の重点目標	i 生徒の学習意欲向上と学習習慣定着のため、日々の授業の改善と充実に努める。
	ii 生徒会の委員会、クラブを通して、生徒の自律を促し活気ある学校づくりに努める。
	iii 生徒の進路実現に対応した進学対応型単位制の更なる研究および新教育課程の研究・準備をする。
	iv 生徒の学力の向上のために、学校内各分掌及び様々な教育機関との連携に努める。
	v 保護者及び地域にむけて情報発信するとともに、さらに理解・信頼される学校づくりをする。

領域	対象	今年度の具体的目標(評価項目)	評価の観点
教育活動	教育課程	1 平成24年度から先行実施される数学と理科の新教育課程を研究し、本校生徒の進路希望に対応した教育課程をつくりあげていく。	・各教科の協力を得ながら数学と理科の新教育課程を分析し、その結果を踏まえきめ細かなカリキュラムとなっているかどうか。
		2 教育課程上の改善点を検討する。	・進学対応型単位制を含め、特色ある教育課程の実現に向け、生徒・地域の多様な要望に対応したカリキュラムになっているかどうか。
	学習指導	学習習慣の確立を図る。	家庭での学習習慣を確立させる指導ができたか。 学習合宿・オリエンテーションは効果的であったか。
		放課後や土曜日の自主学習支援の充実を図る	自主学習を支援するための学習環境の整備ができたか。
		教科指導力の向上を図る。	公開授業や授業研究会を有効に活用できたか。
			授業アンケートが授業改善に活かされたか。
	職員間の連携した指導を充実させる。	成績・出欠・学力状況に関わる情報を職員間で共有し連携した指導ができたか。	

領域	対象	今年度の具体的目標(評価項目)	評価の観点
教育活動	進路指導	1 国公立大学を中心とする生徒の希望進路の実現に向けた指導を適切に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験(文系6-7型、理系5-7型)に多くの生徒が参加したか。 ・進路希望実現に向けての指導は適切であったか。
		2 後期日程廃止等の受験形態の変化に適切に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への情報提供等、指導が適切であったか。
		3 『進路選択の手引き』、『合格体験記』を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・HRや教科での活用が進んだか。
		4 中学校や大学などの教育機関との連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携を深めることができたか。 ・大学見学や模擬講義を通じて大学との連携を深めることができたか。
		5 検討会や研修会の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・模試検討会、3年進路検討会や研修会を通して職員の共通理解が進み、生徒への指導に生かされたか。
		6 大学見学会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの生徒が大学見学会に参加したか。 ・生徒が大学の情報を得たか。
		7 進路講座の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも生徒の志望や関心に応える内容であったか。 ・指導の時期は適切であったか。
		8 夏期講座・土曜講座・特編授業の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が熱心に参加できたか。 ・生徒の学力向上につながっているか。
		9 進路指導用教材を有効に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト授業が計画的かつ効果的に活用されたか。
	生活指導	1 自律的な生活習慣の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をきちんとすることができたか。 ・遅刻を少なくすることができたか。 ・自転車を中心として、交通安全の意識を高めることができたか。 ・貴重品の管理を徹底することができたか。
		2 集団生活の中で人間関係の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安心して学校生活を送れるように、「いじめ」などがなく、「不登校生徒」などに対しても十分に支援をする体制づくりができたか。
		3 職員間で情報を共有し、関係機関や保護者との連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・校外での情報交換を本校の指導に生かすことができたか。 ・関係機関や保護者との連携を密にした指導を行うことができたか。
		4 生徒会との連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・校風委員会と連携して、「挨拶活動」、「自転車の施錠、駐輪マナーの向上活動」などを実施することができたか。
	人権平和	1 基本的人権に対する認識を深め、主権者としての自覚を高めるとともに、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権や平和の問題について積極的に考え、行動する力を伸張する機会や場を設けることができたか。
		2 自主的・民主的な集団づくり、仲間づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルームを中心に、生徒会活動、クラブ活動などを通じて、集団や仲間について学ぶ機会や体験する場を設けることができたか。

領域	対象	今年度の具体的目標(評価項目)	評価の観点
教育活動	生徒会	「生徒会活動の活性化を図る。」 1 計画性を持って準備をし、実施後の反省を次に生かす。	・生徒会活動(特に、りんどう祭と卒業式第2部)、委員会活動、クラブ活動が計画通りに実施できたか。
		2 活動を通して、自主性の涵養を図る。挨拶の徹底・校歌をしっかりと歌う	・自治活動や奉仕活動の達成感や満足感が得られたか。 ・朝の清掃活動が計画的に実施できたか。
		3 環境に配慮した取り組みを生徒会として行う。	・環境に関する企画をし、実施できたか。
	図書視聴覚	1. 図書館利用の拡大を図り、読書習慣を定着させる。	・図書館利用が増えたか。 ・図書の貸出数は増えたか。
		2. 教科・授業、小論文への資料の充実を図る。	・利用者の要望に応じることができる資料の充実が図れたか。
		3. 冬期においても快適な環境を整え、更なる施設の利用を図る。	・冬期間、多くの生徒が利用したか。
		4. 視聴覚室及び視聴覚教材の有効活用と各部署との連携を図る。	・利用しやすい環境を整え、視聴覚室が有効に利用されたか。
	保健	1 心身の管理を図る。	1 保健室への来室者への対応が適切であったか。また、関係者や関係との連絡・連携ができていたか。 2 緊急時、保護者への連絡および医療機関との対応が迅速・適切にできたか。 3 学校保健安全法に則り各種健康診断を計画的に実施し、事後指導が適切であったか。
		2 環境の管理を図る。	1 学校環境衛生検査を適切に行い、その結果を生かせたか。 2 トイレが清掃され、清潔であるかの確認 3 校内の危険箇所、安全に配慮が必要となる箇所の確認改善
		3 保健指導を充実させる。	1 生徒が自分の健康に関して興味関心をもてるような広報活動ができたか。 ・保健委員会等による広報活動 ・保健委員会の活動支援
	PTA	1 PTA総会、学年・学級PTAを活性化し、相互理解を図る。	・総会、学年・学級PTAに多くの人が参加したか。
		2 PTA研修会を通して、高校生の健全育成・適性進路について研鑽を積む。	・PTA研修会の満足度が高かったか。

領域	対象	今年度の具体的目標(評価項目)	評価の観点
学校運営	教務	1 学校が更に円滑に運営されるように努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・諸行事の計画を早めに立て、生徒・教職員・保護者への周知徹底が図れたか。 ・月曆の発行がされたか。 ・文書処理、成績処理等のOA化をさらに推進できたか。
		2 校内の情報を外部に発信し、本校への理解を深めてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開、体験授業、学校説明会に多くの中学生・保護者・他校教職員・地域住民等に参加していただけたか。 ・ホームページ、ポスター等で学校の様子を紹介できたか。
	予算施設	1. 老朽化および危険箇所への十分な対応をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃安全確認ができているか。 ・危険箇所等を確認した場合は、速やかに改善できたか。
		2. 生徒の教育環境をより充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境等の整備ができているか。 ・学習活動に必要な備品等を整えることができたか。
	情報処理	1 情報処理機器及びネットワーク利用による校務の合理化の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースを整備し、今まで以上の活用ができたか。 ・アプリケーションソフトの有効利用ができたか。
		2 情報処理機器及びネットワークを利用した教育活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で活用できたか。 ・授業や生徒の様子を外部に発信することができたか。
		3 情報リテラシー教育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報・著作権保護、セキュリティ確保の大切さを職員・生徒に伝えたか。 ・特別活動などで正しい知識と実践を指導できたか。
	防災	1 緊急体制を整備・確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・職員の緊急連絡網が整備されたか。 ・避難訓練が有効に行えたか。
		2 緊急時の対応方法を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難経路が生徒に対して周知徹底されたか。 ・緊急時の対応が適切であったか。